

第54回 仙台市広瀬川清流保全審議会 議事概要

◆ 日時 : 令和8年1月8日(木) 10時00分～11時45分

◆ 場所 : 市役所本庁舎8階 第四委員会室

◆ 出席者 : 《審議会委員(15名/15名)》

大高 成美 (公社)仙台青年会議所特別顧問

加藤 和夫 宮城管内町内会長連絡会理事

齋藤 和城 宮城県土木部長

(代理:河川課長 千葉 周二)

坂野 恭子 (公財)日本野鳥の会宮城県支部副支部長

佐々木 心 仙台南地区広瀬川環境美化推進協議会会長

○庄子 真岐 石巻専修大学経営学部教授

菅原 由香里 作並温泉旅館組合

高荒 智子 福島工業高等専門学校都市システム工学科教授 (Web参加)

館崎 歩 仙台弁護士会 (Web参加)

西澤 啓文 北部広瀬川愛護推進協議会

林 雄一郎 国土交通省東北地方整備局河川部長

(代理:河川環境課長 片野 正章)

◎平吹 喜彦 東北学院大学名誉教授

福屋 粧子 東北工業大学建築学部教授 (Web参加)

嶺岸 健二 広瀬名取川漁業協同組合理事

横地 貴子 (一社)宮城県建築士会仙台支部

(◎:会長 ○:副会長)

《事務局》

佐藤 秀樹 建設局長

小松 利充 建設局次長

河西 義人 建設局次長

鈴木 江美子 建設局百年の杜推進部長

福與 聡 建設局百年の杜推進部参事 兼公園管理課長

佐藤 慎二 環境局環境部環境対策課長

遠藤 直人 まちづくり政策局防災環境都市推進室震災メモリアル事業担当係長

大宮 伸吾 こども若者局こども家庭部子育て応援都市推進課長

中塚 祐一郎 文化観光局文化スポーツ部青葉山エリア複合施設整備室技術担当課長

水嶋 信文 建設局百年の杜推進部百年の杜推進課長

庄司 明浩 建設局百年の杜推進部百年の杜推進課主幹 兼広瀬川創生係長

<次 第>

1. 委嘱状交付
2. 開会
3. 会長・副会長の互選
4. 会長・副会長挨拶
5. 議 事(報告事項)
 - (1) 西公園への屋内遊び場の整備について
 - (2) (仮称)国際センター駅北地区複合施設について
6. 閉会

百年の杜推進課長	<p>1. 委嘱状交付</p> <p>これより、第54回仙台市広瀬川清流保全審議会を開会する。</p> <p>本審議会は、令和7年11月に行われた委員の改選後、初めての開催となるため、開会に先立ち、委嘱状の交付を執り行う。</p> <p>なお、本来であれば仙台市長より委嘱状を交付すべきところではあるが、机上での配布をもって交付に代えさせていただく。</p> <p>また、本日Webにて出席の高荒委員、館崎委員、福屋委員には事前に委嘱状を郵送している。</p> <p>皆様の任期は令和9年10月31日までの2年となる。よろしく願います。</p>
建設局長	<p>2. 開会</p> <p>(局長挨拶)</p>
百年の杜推進課長	<p>3. 会長・副会長の互選</p> <p>本日は代理出席含め、委員全15名に出席いただいております。会議が成立していることを報告する。</p> <p>なお、本日の審議会は、現委員の任期中、初めての開催となる。「広瀬川の清流を守る条例施行規則第3条」に基づき、委員の互選によって審議会に会長及び副会長一人を置くこととなっている。</p> <p>ついては、どなたか会長、副会長の推薦等はないか。</p>
坂野委員	<p>会長には審議会の前会長を務めた平吹 喜彦委員を、副会長には同じく審議会の前副会長を務めた庄子 真岐委員を推薦する。</p> <p>両名共に本審議会に精通しており、その他の委員会にも参加するなど経験が豊富であることから、適任と考える。いかがか。</p>
百年の杜推進課長	<p>只今、坂野委員から推薦があったが、委員の皆様、いかがか。</p> <p>— 委員より、異議なしの声 —</p> <p>異議なしとのことから、会長には平吹 喜彦委員、副会長には庄子 真岐委員に就任いただく。</p>

	<p>4. 会長・副会長挨拶 (会長・副会長より挨拶)</p>
<p>百年の杜推進課長</p> <p>平吹議長</p>	<p>5. 議事(報告事項) ここからの進行は、「広瀬川の清流を守る条例施行規則第5条第1項」に基づき、議長となる平吹会長にお願いする。</p> <p>会議の公開、非公開について確認する。 本日の議事には非公開となる事案が無いことから、公開として良いか。</p> <p>— 委員了承 —</p> <p>議事録の署名について確認する。 会長の他、もう1名、署名人が必要となる。名簿順にお願いしており、今回は大高委員にお願いしたいが、よろしいか。</p> <p>— 委員了承 —</p> <p>議事を進める。 今回の審議会では報告事項が2件ある。まずは議事(1)西公園への屋内遊び場の整備について、事務局から説明をお願いします。</p>
<p>百年の杜推進課</p> <p>子育て応援課長</p>	<p>【(1)西公園への屋内遊び場の整備について】 (概要説明)</p> <p>(資料1-1, 1-2, 1-3について説明)</p> <p><質疑></p>
<p>佐々木委員</p>	<p>まず確認したいのが、第1種環境保全区域内では何を守らなければいけないのか。施設が完成した後、利用する人達は何に気をつけないといけないのか。そこをまずは教えていただきたい。</p> <p>また、八本松には国で整備した、じゃぶじゃぶ池があり、そこは本当に安全安心に遊べる場所となっている。急に、こどもを川で遊ばせるというのは非常にリスクがあるため、しっかり整備することが必要だと認識している。</p> <p>どうしても、こどもというのは、我々、大人の想定を超える行動をするので、遊ぶな、という規制をされると非常に難しい行動をとる。逆にこういうことであれば大丈夫ということを示してあげるのが必要だと思う。</p> <p>川での遊び方について決して規制を掛けるのではなく、より安全安心に遊べる整備を求めたい。この辺の建設局と、こども若者局で何か連携しているものがあれば教えていただきたい。</p>

<p>百年の杜推進課</p>	<p>条例上、建築物に関しては高さなどの基準がある。具体的には、当該地であれば高さは20m以下となり、それを守る必要がある。</p> <p>また、景観に配慮した色彩の基準を定めており、景観と調和した色となっているか審査する。そのほか、連絡橋の設置にあたっては、恐らく樹木の伐採等も生じると考えており、その場合には代替木の植樹を求めるとともに、流域の景観、自然環境を保全する設えとなっているかに着目しながら、議論していく。</p> <p>水遊びの関係の、こども若者局との調整状況については、先ほど、屋内遊び場と屋外遊び場が連携して整備を進めるという話があったが、まずは屋内遊び場から広瀬川に近づき易い環境とするため、スロープや階段を整備したいと考えている。</p> <p>また、緑化フェア開幕に合わせて整備した、せせらぎ水路があり、その水路は広瀬川本流から水を引き込み、小さなお子さん達が自由に遊べる環境となっていたが、緑化フェアが閉幕して数年経ち、水路に土砂が堆積したことで不具合が生じている場所もあることから、再整備に向け調整している。</p> <p>せせらぎ水路に加え、広瀬川の水辺に降りられる階段護岸の整備も考えている。</p>
<p>佐々木委員</p>	<p>水遊びの関係については、建設局も連携して進めていると理解できたが、環境保全区域内で守るべきことについて、私が質問したのは、今後、施設が完成した時に、我々、利用者にも何か規制が掛かるのではないかとということであり、まずはここを確認したい。</p> <p>また、連絡橋を造る上で、こどもの遊び場ということは、ベビーカーを押しての通行も想定される。そのため、例えば屋根の設置を求められることもあると思うが、何か抵触する基準はあるのか教えていただきたい。</p>
<p>百年の杜推進課長</p>	<p>広瀬川の清流を守る条例においては、施設を利用する上での規制はない。</p> <p>また、連絡橋については、伐採を伴うものであれば代替木を植樹すること、色彩なども基準に適合するものであれば、問題無いと考えている。</p> <p>現在の自然環境に十分、配慮いただき、周辺と調和した建物、デザインとなるよう、こども若者局に求めていく。</p>
<p>佐々木委員</p>	<p>デザインの話があったが、条例の制限を受ける景観を損なうものを例示していただきたい。</p> <p>過去に地下鉄のラッピング列車を提案したことがあるが、景観を損なう恐れがあるとの指摘を受けた。そのようなことにならないよう、どういったデザインを指すのか教えていただきたい。</p> <p>そのほか、屋内遊び場近くの川遊びでも、広瀬川で鮎が放流された時には投網を試みるなど、失われた、失われつつある日本の良い歴史・伝統を、こども達にぜひ見せてあげたいため、規制は大事であるが、過度にならないよう求めておく。</p>
<p>百年の杜推進課長</p>	<p>デザインに関して、色彩は数値基準を設けているが、それ以外のいわゆる見た目、形状などに関しては、良し悪しの線引きが非常に難しい。</p> <p>完成したものを市民が見たときに、周辺環境と調和した、景観に配慮された施設だと感じていただけるようなデザインを求めていきたい。</p>

西澤委員	<p>国際センター、緑彩館含め、あのブロックは歴史性を感じられるゾーンにするというのが前提にあり、それを実現する形での建築が行われている。</p> <p>基本計画中間案の資料を見ると建物がガラス張りになっているが、建設予定地はその歴史性を感じられるゾーンに該当していないと捉えて良いのか。</p>
子育て応援課長	<p>中間案29ページの(6)、施設整備の配慮事項として、景観形成について記載している。</p> <p>青葉山の歴史的景観も含めて、美しい街並み景観が形成されているエリアであるため、その景観と調和が取れるような施設を目指していくということを、整理している。</p> <p>イラストは、かなりイメージ化したものであるが、実際の施設の設えなどについては、今後、設計の中で整理していく。</p>
西澤委員	<p>イラストが独り歩きする危険性があるという懸念を持ち、質問した。</p> <p>やはり、青葉山、青葉城址と一体という考え方は重要であると認識しているため、その辺を前提にして検討を進めていただきたい。</p>
嶺岸委員	<p>かつて、川で鮭が取れた時代、じゃぶじゃぶ池に近くのことども達を集めて、漁協組合が中心となって鮭のつかみ取りをしたことがある。今後、鮭のつかみ取りを行うことは難しいとしても、こども達が水場で遊べる環境は残していただきたい。</p> <p>せせらぎ水路を2、3年前に自然に近い形で造ったが、川は毎年、雨や洪水の度に変わり、結局、毎年整備が必要な遊び場となると大変なため、長い間使えるような構造にしてほしい。</p> <p>じゃぶじゃぶ池で鮭のつかみ取りをしたときは、事前に砂を除いて、それなりの準備をして実現に至った。今後、大々的に計画するわけだから、長い間、自然に近い形で、こども達を中心に遊べるような構造にしていくべきである。専門家の方々の知識、あるいは我々の経験したことが参考になるのであれば、相談いただければ多少は役に立つのかなと思うので、こどもをいかに自然に親しませるかということにも力を入れてやっていただきたい。</p>
子育て応援課長	<p>この施設は広瀬川も含めた外遊びとの連続性を重視した計画となっている。</p> <p>屋内遊び場の計画地に接する河川敷に、先ほど説明のあった、せせらぎ水路が整備されており、昨年夏にはこのエリアの自然遊びの可能性などを検証したく、仮設の遊び場も設置した。その際は、親水空間である、せせらぎ水路や、広瀬川本流に入っただけの遊びを川の専門家に協力いただきながら展開しており、多くの親子連れに楽しんでいただいた。</p> <p>河川敷に降りて川の中を見ると、あのエリアでも非常に多くの生き物、虫も魚も含めて観察することができ、都心に近いエリアで、また、地下鉄駅を降りて直ぐのところまでそういった水遊びができる、自然の生物に触れられる空間があるということを我々も認識しているところである。</p> <p>この施設を整備すれば長期的な遊びの拠点となることから、河川敷の活用の検討にあたっては、ご指摘の視点に配慮しながら進めていく。</p>

<p>大高委員</p>	<p>平日、土日と車の流れを見ているが、大橋を通り青葉城に向かう道が狭いこともあり、混雑が見込まれる。こういった施設を訪れるときに何を考えるかという、やはり車で行きやすい場所かどうかだと思う。</p> <p>駐車場が無いと敬遠されてしまうこともあるし、地下鉄となると近所に住む方は良いが、子どもを連れて地下鉄を乗り継いで移動するという方は少ないと考えられるため、メインの移動方法は車になると思われる。</p> <p>現状、緑彩館の駐車場はイベントがあるとすぐに満車になり、使用できないという状況がよく見受けられるが、今後、音楽ホールが出来ると、青葉山交流広場の駐車場も使えなくなる。西公園の駐車場を立体にして駐車台数の増大を図るとあるが、これで果たして車を捌けるのかというのが非常に気になっている。</p> <p>この駐車場に停められず、路上駐車する車があれば近隣住民から困るという声も出るだろうし、アクセスが容易でなければ人は来なくなってしまうと思う。</p> <p>これだけの施設を、お金を掛けて造るのに、人が来ないのではもったいない。利府、加瀬沼公園は駐車場があるから多くの方が訪れ、賑わっていると思うので、検討いただきたい。</p>
<p>子育て応援課長</p>	<p>保護者アンケートでも、来館時の想定移動手段は、やはり多くの方が車と回答しており、我々としても駐車場のニーズというのは強く感じている。</p> <p>まずは駐車場の確保が大事であり、基本計画中間案の44ページに記載のあるとおり、地下鉄の高架を挟んで北側に立体駐車場を整備し、駐車台数を確保してまいりたい。</p> <p>また、周辺交通に与える影響にも十分、配慮しなければならないと考えており、本施設のほか、このエリアで進める緑彩館や音楽ホールなどの各プロジェクト関係部署からなる連絡会議にて、交通課題も重要なテーマとなっている。</p> <p>周辺交通や地域住民への影響の低減、利用者の利便性向上が大変、重要な点だと認識しているため、引き続き、関係部署と連携しながら対応を検討してまいる。</p>
<p>平吹会長</p>	<p>今回の建設に関わるエリアは、かつて市民プールがあった場所であるが、説明を聞く限り、その時よりも自然度や利用度が高まるような整備・事業がなされるのかなと感じている。</p> <p>個人的には、昨今の猛暑もあるため、緑化という形でこの場所にどのように緑を呼び込むのかということが大きなポイントの一つになっていると思う。</p> <p>例えば、郷土種のモミの木をシンボルツリーとして野外に植え込み、日陰を創出する。また、様々なアクティビティ、話題を叶えるための素材としての植物種の選抜と配置も重要であると思われる。さらに詳細を検討いただければと思う。</p> <p>さらに重要だと思ったことは、建設エリアと広瀬川本流との間の河川敷・岸辺を子ども達に利用してほしいという構想をどう叶えるかということだ。これには嶺岸委員から紹介のあった、じゃぶじゃぶ池を先例として検討することが有益だろう。</p> <p>建設エリアと河川敷の境界や階段、護岸、せせらぎ水路などをどのように造るのか、そこにアクティビティなどのソフト面をどう入れ込むのか、安全管理上、どのように人員を配置するのかなど、細かい課題がまだ残っている。専門家などからアイデアを集めながら検討いただき、できればこの審議会でもう一度、考える機会を設けていただきたいと思ったところである。</p>

	<p>【(2)(仮称)国際センター駅北地区複合施設について】</p>
平吹議長	<p>次の議事に移る。</p> <p>(2)(仮称)国際センター駅北地区複合施設について、事務局から説明をお願いします。</p>
百年の杜推進課	(概要説明)
複合施設担当課長	(資料2について説明)
	<質疑>
佐々木委員	<p>確認だが、こどもの遊び場の基本計画中間案には事業費35億円程度と記載があるが、こちらの資料に記載が無いのは何故か。</p> <p>良いものを造る上で費用が掛かるのは当然と思うが、それを示していただかないと、良いも悪いも言えない。</p>
複合施設担当課長	<p>本日は設計内容の説明を中心にと考え、記載していなかったものである。</p> <p>事業費は中間案ベースで約548億円と見込んでいるが、その他の外構費と土壤汚染対策費はまだ計上できてないところである。なお、昨今の建設費の上昇もあり、事業費が大きくなっていることを大変、気にしている。</p> <p>設計者や様々な専門家とも意見交換をしながら、設計の工夫、事業費の抑制について検討しているところである。</p>
横地委員	<p>新聞で見た事業費や、まだ未計上の費用があるということで驚いている。</p> <p>医療センターの跡地にも県の音楽施設が出来るため、二つも必要かなどの意見もあるが、こちらはこういう用途に適しているといった違いがあるから計画を進めていると思うので、その使い分けをお聞きしたい。</p> <p>また、今後も物価の上昇が想定されているが、途中で計画を変更する可能性はあるのか、お聞きしたい。</p>
複合施設担当課長	<p>県と市の二つの施設を整備する前提での需要予測を行っている。</p> <p>既存の宮城県民会館は建替えであり、市民会館は更新しない方針としていることから、既存需要のスライドがある。また、文化芸術の創造拠点として新たに発信していくため、市民参加のオペラ公演なども検討しており、それらを考慮すると、二つ有って過剰ということではなく、需要に応じたものとなっている。</p> <p>計画については、一部、リハーサル室の見直しや、スペックの見直しを進めており、また、仙台市ならではの経験、文化芸術と災害文化の交わりを世界に向けて発信すべく、実現に向けて引き続き努力しているところである。</p>
平吹会長	<p>資料11ページの断面図で、高さの基準(広瀬川の清流を守る条例)20m、(仙台市「杜の都」景観計画)30mを守るために地面を掘り下げるという話だが、この掘り下げについては、文化財との関わりもあって、不確定な部分であるという認識でよいか。</p> <p>それからもう一点、青葉山公園の既存の段差、緑は残しつつ、テラスを設けるとのこ</p>

	<p>とだが、広瀬川との接点をどう見せていくのかという点について、少し補足いただきたい。</p>
<p>複合施設担当課長</p>	<p>文化財との関わりは、資料13ページをご覧くださいと思うが、オレンジ色の点線の中、国際センター駅側が文化財包蔵地となっている。</p> <p>文化財包蔵地が建物を深く掘り下げることの可否に直接、影響するものではなく、事前に文化財調査をしっかりと行ってから、着工するというものである。</p> <p>広瀬川との接点の見せ方については、現状、敷地と公園の間に一部、フェンスがあることで、行き来の場所が限定されているが、敷地と公園をテラスでつなぎ、桜の小径まで境目のない空間を形成することで、誰もがテラス空間を利用できる環境に整備したいと考えている。</p>
<p>平吹会長</p>	<p>音楽ホールと河岸段丘下段の仲ノ瀬緑地をどのようにつなげるかは、まだ検討中ということで、建設局とのすり合わせで何か新しい方針が決まったら、教えていただきたい。</p>
<p>大高委員</p>	<p>実際に青葉山交流広場の駐車場が利用できなくなるタイミングを教えてください。</p>
<p>複合施設担当課長</p>	<p>詳細な時期は未定だが、来年度早々から文化財調査に入れるよう、これから予算の審議をいただくところである。</p>
<p>庄子副会長</p>	<p>この施設が青葉山エリアに建設されることには、大きな意義があると感じている。</p> <p>青葉山に立地することで、萩ホール、緑彩館、国際センターとの機能的な連携が可能となり、これまで仙台では誘致が難しかった世界規模のMICEの開催も視野に入ってくるのではないかと考えている。</p> <p>一方で、青葉山エリアの大きな弱点は「食」であるとも感じている。各施設内の飲食機能の充実に加え、川辺空間を活用したカフェの設置など、例えば広島の水辺カフェのような取り組みも検討する必要があるのではないかと。</p> <p>また、音楽ホールの周辺には仙台第二高校や宮城第一高校などが立地しており、高校生の学びとの連携についても、将来的な視点を持って丁寧に組み立てていく必要があると考えている。</p> <p>石巻の「マルホンまきあーとテラス」では、シンポジウム開催時に桜坂高校の生徒が案内等を担った事例があり、来場者から非常に好評であった。</p> <p>高校生にこうした施設の利用を促すことは容易ではない面もあるが、単なる利用にとどまらず、学びの場としてプログラムに組み込んでいくことができれば、非常に意義深い取り組みになるのではないかと感じている。</p>
<p>平吹議長</p>	<p>他にはいかがか。</p> <p>議事はこれで終了し、進行を事務局にお返しする。</p>

百年の杜推進課長	<p>6. 閉会</p> <p>以上をもちまして、第54回仙台市広瀬川清流保全審議会を閉会する。 長時間にわたる議論、ありがとうございました。</p>
林委員代理 (片野課長)	<p>その他(審議会の運営について)</p> <p>広瀬川清流保全審議会では、各議題の中で、我々委員にどの部分について意見を求めているのか分かりづらいところがある。</p> <p>例えば、施設自体の事業費や機能など細かな点は別の審議会などの場で議論されているのであれば、この審議会では施設と隣接する広瀬川の利活用に対しての意見を求めているものであるなど、次回からは可能な範囲で、我々に意見を求めている論点を明確にしていきたい。</p>
百年の杜推進課長	<p>報告事項というところで、少しわかりにくいところがあった。</p> <p>次回からは、ある程度、論点・テーマを明確にした上で議論いただけるよう、進め方について会長と相談する。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>

この議事録について、会議の内容に相違ないことを認めます。

令和 年 月 日

仙台市広瀬川清流保全審議会署名委員

会 長 _____

委 員 _____